

テックドクターによる現地調査 (鹿児島県鹿児島市吉野町)

令和3年7月2日に国道10号457k200付近(鹿児島市吉野町)の法面对策工事予定箇所において、テックドクター(鹿児島大学酒匂教授)と現地調査を実施した。

対象斜面には、不安定岩塊が確認されており、落下時の国道への影響防止のため、防災対策(ロープ伏工)を実施する。

出席者:鹿児島大学 酒匂教授

● テックドクターによる調査



岩塊の亀裂状況



現地調査状況



合同協議状況

【助言内容】

- ・対象岩塊の左右に亀裂が見られ、亀裂には樹木の根が張り付いている。岩塊の上部は、表土に覆われており樹木が繁茂している。これらの樹木の根が亀裂に沿って伸びていると考えられる。
- ・亀裂は、流水により表面だけ浸食されている可能性もあり、左右の亀裂が岩塊の背面で繋がっているかは不明である。
- ・根の生長による亀裂の拡大と、強風によって亀裂沿いの立木が揺さぶられ亀裂が拡大し落石のおそれも考えられる。よって、ロープ伏工にて岩塊を固定することは妥当と考える。